

神石高原町第2次長期総合計画（素案）に係る意見募集（パブリックコメント）の結果について

1 募集期間

平成29年2月1日（水）から平成29年2月24日（金）

2 実施方法

神石高原町役場まちづくり推進課及び各支所並びに町ホームページで公開し、持参、メールにて意見提出

3 意見の件数 15件（3名）

4 意見の概要と町の考え方

「1-2 良好な生活環境の形成」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
合併浄化槽はランニングコストが汲み取りよりかかりネックになると思う。これへの対策が必要ではないか。	・水洗化は定住環境の面からは必須で、合併浄化槽設置にあたり初期費用の助成を行っています。維持費への対策は、直接的な個人財産向上に税金が使われることになり、今以上の対策は、今後の検討課題とさせていただきます。	P3～P5

「1-4 景観保全，環境美化」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
動物愛護の精神と有害鳥獣駆除は、「命」という観点から考えて相反するもののように考えるが、この行はどうとらえればいいのか。	・人間も地球上の食物連鎖の中で暮らしています。多くの生命の犠牲の上に生活していることを理解しながら、命を無駄にすることなく、尊重しながら、環境循環が保たれるよう、共存していくことが重要だと考えます。	P8～P9

「1-5 地域コミュニティの育成」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
自治振興会活動支援・買い物困難者支援の取り	・地域おこし協力隊による支	P10～P12

<p>組み,地域おこし協力隊などの人的支援の配置とあるが,これは活動支援や困難者の支援を地域おこし協力隊が支援するという意味なのだろうか。どういふことかわかりにくい。</p>	<p>援もあると考えますが,制度本来の地域おこし協力隊の配置趣旨に沿った表現とします。</p>	
-----------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------	--

「2-2 医療の充実」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
<p>町立病院の整形外科の充実が必要であり,月2回の診察は少ない。近隣の市民病院の整形外科の診察は,常勤の医師1名(毎日診察)大学病院から派遣医師1名(週2日)診察の2名体制であり患者も多く,神石高原町からも多くの患者が通院される。町立病院の患者数減少の一因にもなっているのではないか。加えて近隣の町には,民間の整形外科専門のクリニックがあり,整形は充実している。整形外科医師を大学病院,または指定管理者に強く働きかけをすべきではないか。</p> <p>診察科目はすべて赤字と報告を受けている,赤字幅が大きい診察科目は,廃止もやむを得ない。</p>	<p>・安定的な病院経営と地域医療体制の確保のため,様々な施策をとっており,今後も継続していく予定です。町民意識調査でもニーズが高い項目であり,今後も医療ニーズと体制確保の両面から十分に検討を進め,地域医療対策の確保に努めます。</p>	P15~P17
<p>(3) 今後の方向性</p> <p>「町民が積極的に利用したい病院」的な項目が必要ではないか。病院としての人気は今一步に思える。</p>	<p>・施設・設備,医療人材等の両面から,経営的側面を考えて取組を進めています。経営を度外視した安易な人気確保は難しいと考えています。今後,人気を含めて「期待,機能や役割」が果たせる病院となるように取組みます。</p>	P16

「2-4 子育て支援と若者定住対策の推進」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
<p>空き家の対策が急がれるが,公営住宅も空き家住宅になりつつある。住宅法により,家賃基準は決まっているのはわかるが,老朽化した住宅の家賃の見直しができないか。</p>	<p>・公営住宅は国の補助金を受けた住宅であり,町独自の弾力的な運用が難しい面がありますが,ご意見を踏まえ,関係部署と検討します。</p>	P20~P22
<p>①子育て支援対策の充実</p> <p>子供を預けることのみが重要視されているの</p>	<p>・家庭や地域での保育力は重要であると考えます。保育所</p>	P21

ではないか。幼児期は母親とのかかわりが重要であり、自宅で保育をする場合の補助も考えるべきではないか。	だけでなく、家庭での子育て支援についても、平成27年に策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、これまでの施策を一層充実させてまいります。	
----------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	--

「3-1 学校教育の推進」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
②教育環境の充実 神石高原中学校の寮も加えたらいいのではないか。	・個別事業については、実施計画の中で記載を検討します。	P27

「3-2 家庭の教育力の向上」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
(3) 今後の方向性 行政だけではなくPTAとの連携が必要と思われる。文面だけみると、一方的に提供を押し付けているのではととらえることもできる。	・学校、家庭、地域が連携する中に、PTAも含まれるものと考えます。	P29

「3-4 豊かな歴史と文化の継承」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
②歴史・文化資源の活用機会の充実 観光資源としての開発も必要ではないかと思う。	・4-3観光の振興で、「町内の歴史、景観…の集積を活かして」などの表現を盛り込んでいます。本節では最重要と考える保存・継承を中心に記述しています。	P34

「4-2 商工業の振興」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
(3) 今後の方向性 生活に余裕のできる賃金形態の確保がほしい。実際商工業者は大変なのであくまでも努力目標にはなるのだが、就職や定住に賃金は重要な要素となる。行政から何らなの形でのバックアップが必要に思う。	・具体的な賃金水準の確保まで踏み込むことは難しいと感得ます。既存・新規商工業者の支援を通じて、賃金の向上を目指したいと考えます。	P42

「5-2 情報通信基盤の整備」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
<p>情報通信基盤が整備され、インターネット利用の環境が整った。IT企業の誘致を推進。事務所を構えるだけでいいから、空き家活用できる。これには高速インターネット回線が必要なのですか。</p>	<p>・グローバルな競争が可能な企業を誘致するためには、高速・大容量のネット回線が不可欠です。様々な方法を検討し、技術革新に対応できるよう努めます。</p>	P51～P52

「6 計画の推進のために」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
<p>計画の推進のために 教育をどうするかという項目がない。8年間の計画であり、中学生が十分に成人する期間がある。リーディングプロジェクトの項にそれらしいことが記載されているが、具体的な内容には触れていない。</p> <p>学校教育においてどのような教えを行っていくかは極めて重要な内容となる。ぜひとも記載を再考されたし。</p>	<p>・教育は、3教育・文化の各論「学校教育」等の中で記載しています。本節では、分野横断的な行政体制、運営や町以外の国・県・備後圏域、民間の主体について記述しています。</p> <p>・教育だけの再掲は難しいと考えます。</p>	P53～P56

「全体」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
<p>病院の将来に対する、見通し計画があまりにずさんです。4～5年先には人口が約8,000人の町現状を考えて計画を再検討すべきです。優秀な医師が、派遣される当てもなく、確保も難しい現状で、巨額の費用を投じて、病院を建てるのがいいのか？現在の病院の耐震化工事で充分ではないのでしょうか。将来の町民につけをまわす箱物は決して造ってはならないと思います。</p> <p>各テーマでの検討内容は、立派なものですが、5年先、約8,000人程度の町の人口で、新しい庁舎が必要ですか？将来どうしても自治体合併の道しかないのなら、合併を前提に見据えて、考えるべきでしょう。財源の使い方、各施設（病院も含めて）の将来の在り方を検討すべきだと思います。8,000人程度の町には、何人の職員が適正で、町議は何人か？住民を巻き込んだの協働支援センターの役割はもっともっと増大するでしょう。いまから、将来に向けて、町民と職員</p>	<p>・町民ニーズが高い地域医療のあり方は、受益と負担の関係を含めて、長期的に検討していきたいと考えています。</p> <p>・NPO団体は町の活性化にとって大きな資源です。NPO団体を含めて町内の企業、団体と連携しながら町の存続と発展に取組みます。</p> <p>・町内の資源については、町民の皆様と検討し、活用策を見いだしたいと考えています。</p> <p>・町の目標人口は、目標を目指して、町民と行政が一体となって取り組みを進めようとするものです。現実的な「夢」とそれに向かう手段やプロセ</p>	

が一丸となって取り組まなければ、遅きに失するでしょう。

幸い神石高原町のロケーションは良く、近隣市のベッドタウン、農林業を志す人の別天地、さらに、心癒やされる「犬」との安らかな老後を過ごせる癒しの町になるでしょう。将来起こる南海トラフ大地震の避難地としての存在はおおきなものがあります。町としても大いに宣伝し、町内NPO団体と連携し、県や国の予算を獲得すべきです。

先日、近隣の市役所に初めて行きました。外観は耐震補強工事できれいになっているものの、内部は、神石高原町の庁舎よりひどく、職員を気の毒に思うほどでした。市ですらこのような現状であるのに、消滅集落、町村と言われている我が町に新しい庁舎など、ナンセンスではないでしょうか。それより、現在余っていたり、使っていない施設を有効に使い利益を上げるべきだと思います。旧町村役場などは、企業に貸し出し利益を生み出すべきだと思います。

「犬」は、我が町を救うかもしれません。老人にとってペットはかけがえのないものです。「若い」ゆえにペットを飼えない人は多いと思います。関係するNPO団体と協力し「犬」の老後の面倒と看取りをおこなう体制づくりし、老人が心おきなく「犬」を飼える住環境を整えれば、他町村からの移住者も増えるのではないのでしょうか？

あまり経験のない私ですが、今後の農業については、野菜工場が主流となり、手間の掛かるうえ、自然に左右されるトマト、ブドウの将来はあまりないと思います。神石の自然のなかでのびのび育ち、若い後継者の多い、「神石牛」こそ我が町の宝だと思います。

将来の展望のもと、町民が安心して暮らせる我が町をどう維持するのか？将来の方向性を見定めて将来計画を立てるべきであります。見通しの甘い、夢のようなこのプランはまるで「夢物語」としか私には思えません。今日の厳しい状況を考

スを示しているのが、本基本計画です。一緒に「夢」を目指して、取り組んでいただければと考えます。

えて計画の見直しを求めます。		
----------------	--	--

「その他」に関すること

意見の概要	町の考え方	該当頁
住民アンケート調査の対象者が2,000人と少なく、回収も853件で人口の約9%。もう少し多くても良かったのでは。	・予算の制約の中で、統計的に有意な規模を確保することで実施しています。統計的には、今回の実施規模で十分な町全体の傾向を把握することが可能です。	